

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより

第196号 2020年9月号



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)
住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地
電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



*** ジャコウアゲハが卵を産みました ***



ジャコウアゲハのメス

桶ヶ谷沼ビジターセンターの入り口の近くにウマノズクサという植物が生えています。そこにジャコウアゲハのメスがやってきて、葉の裏に一粒ずつ卵を産み付けていました。卵を10数個見つけることができました。そのうちの一部をセンター内で飼育し、成長のようすを見守ることにしました。食草を食べた幼虫は脱皮を繰り返して成長し、8月中旬にはさなぎになり、その後10日前後で羽化をしました。

さなぎを「お菊虫」と呼ぶところもあるようです。興味のある方はその由来を調べてください。(ちょっとこわいです。)

ジャコウアゲハの名前は成虫の雄が香料の麝香のようなにおいがすることが由来となっています。ウマノズクサに卵を産みつけるのは食草だからです。ウマノズクサは毒性のあるアリストロキア酸を含み、幼虫はその葉を食べることにより体内に毒をためます。ジャコウアゲハを食べた天敵は中毒を起こし吐き出し、二度とジャコウアゲハを食べなくなります。



葉の裏にオレンジ色をした球形の卵が一つ



食草のウマノズクサをたべるジャコウアゲハの幼虫



飼育箱の天井に着いたジャコウアゲハのさなぎ



羽化したジャコウアゲハのオス

こんなアゲハチョウも見つけました



アオスジアゲハ



キアゲハ



カラスアゲハ

よ〜く見ると夏野菜の花ってきれいだよ。

夏野菜の花をじっくりと見たことがありますか？

今年は4月中旬から約1か月間新型コロナウイルス感染拡大防止のため自宅での生活時間が長く、その間に夏野菜の苗を栽培された方が多かったようですね。

いつ食べられるようになるのかと実のことはよく見るのですが、花のことはあまり注目されていないようです。でも、よく見るとそれぞれ特徴をもったきれいな花が咲いていましたよ。いくつか紹介をします。



- ① 「ゴーヤー」: 雄花と雌花があり、雌花の花の付け根には将来実(果実)となる子房がついています。雄花の蜜を吸いに来た虫が体に花粉をつけ雌花を訪れると受粉して子房が成長し実になります。
- ② 「オクラ」: 明治時代に花の観賞用として日本に持ち込まれましたが、今では食用として栽培されています。オクラの花は短命で朝開いていても夕方には閉じています。実は上に向かって付きます。
- ③ 「ナス」: 花は鮮やかな紫色をしています。ナスは花を見ればその株の健康状態がわかるといわれています。元気な株では色鮮やかで大きな花が咲きます。そうでないときは水や肥料が不足しています。
- ④ 「ミニトマト」: 初心者でも栽培しやすくたくさん実をつけるミニトマトですが、今年の梅雨は例年になく雨の日も雨量も多く、上手く実ができなかったお宅もあったでしょうね。

自然との触れ合いを

《行事予定》

ザリガニを調べよう

* 日程 9月20日(日) 13:30~15:30

* 場所 桶ヶ谷沼周辺

* 対象 一般(小学生は保護者同伴で。ただし、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として引率は1人までとしてください。また、未就学児の参加はご遠慮ください)

* 内容 アメリカザリガニをはじめ桶ヶ谷沼にすむ水生生物の観察

* 服装・持ち物 マスク着用、帽子、長袖・長ズボンで野外活動ができる服装、水筒、タオル、メモ用紙、長靴、軍手(または手袋)、その他必要なもの

* 備考 新型コロナウイルスの感染状況によっては中止になることがあります。

★ 新型コロナウイルス感染拡大予防対策として参加人数は20人までとし、先着順とさせていただきます。

◎ 次のセンター行事は10月18日(日)13:30~15:30「アカトンボ観察会」を予定しています。

どなたでも参加でき、参加費は無料です。申し込みは直接電話やFAXでビクターセンターへ